



[被災していない僕たちが頑張る！7回20180311](#)

[20180311](#)

3月11日函南町酪農王国オラッチェに於いて、『被災していない僕たちが頑張る！.7』と題した東日本大震災チャリティーイベントが開催されました。7回目を迎えた今年は昨年義援金をお送りした「石巻日日こども新聞」の記者達(子供)が応援で石巻からやって来ました。

静岡県東部地区を中心とした高校、飲食店、整骨院、マッサージ店等が出展し、売り上げの40%以上(ブースにより異なる)を義援金として、被災地に贈る企画です。

水色のジャンパーを着た、ボランティアスタッフが生き生きと動き回っていました。写真左は会場内の記念写真コーナー、写真右は会場の酪農王国オラッチェ。



[20180311](#)

一風変わった音楽が流れていました。演奏が終わったところでバイオリンを演奏していた福島吉人さん(65才)にお話を聞きました(写真の左端)。三島市にあるIRISH PUBの仲間でセッションを組んで演奏している。バイオリンは60歳から始めました。若いころにギターをやっていましたが、定年を期にバイオリンを始めました。飲めないが音楽が好きでPUBに行き、音楽好きの仲間と演奏するのが楽しみで有ると語りました。デイケアサービス等にも行って演奏もしているとの話です。

今はシニア世代が高級な楽器を購入して音楽を始める人が多いと言っていました。若い頃に仕事が忙しくできなかった事をゆとりができたセカンドライフの趣味として再開し、上達すれば人前で演奏、拍手を得て満足する。セカンドライフの有り方の一つですよね。



[IMG_9721](#)

[20180311](#)

アイランドミュージックのギグルギグ(写真左)。バイオリンケースには義援金が入っていました(写真右)。



[20180311](#)



[20180311](#)

若い高校生も頑張っていました(写真左右)。伊豆総合高校の郷土芸能部の皆さんです。横笛の響きが魂をゆすぶるとすれば、太鼓の響きは腹を中心に体全体をゆすぶりました。ねんりんピック秋田の角館で高校生の郷土芸能部の演奏を思い出しました。

伊豆総合高校も全国大会で活躍していると部員の人から聞きました。私の高校時代にはなかった様に思います。素晴らしい活動だと感動しました。太鼓を演奏するには腹筋が必要で、かなりの体力を使っていました。まさに育会系ですね。



[20180311](#)



[20180311](#)

ステージでは三島出身のシンガーソングライターの海野みいなさん(写真左)、や「信じる」事をテーマに歌う、シンガーソングライターの待良さんも参加して、ステージを盛り上げていました。



[20180311](#)



[20180311](#)

私の昼食は売上の40%の義援金の柿田川湧水カレー(写真左)と酪農王国のオラッチェのお肉を頂きました(写真右)。写真に写っている緑の長いものが何かわかりますか？アスパラガスです。凄く大きいですよ。余りにも大きいのにびっくりしました。



[20180311](#)



[20180311](#)

被災地三陸のカキも販売されていました(写真左)。食堂は満員と盛況でした(写真右)。



[20180311](#)



[20180311](#)

ドイツ国营放送のカメラマンが撮影した「トビー・マーシャル写真展」も行われていました。被災直後から被災地を取材、外国人の視点で捉えた写真は報道の枠を超えて評価されています。未曾有の大震災、撮影者の「想い」が発信され伝承の糸口になるよう全国各地で写真展を開催されていると説明されていました。皆さんも見る機会が有るかも知れません。

リラックスコーナーではマッサージや全身のもみほぐしが出展していました(写真右)。



[20180311](#)



[20180311](#)

酪農王国ですよ！羊を見て子供達が喜んでいました(写真左)。JR函南駅のシャトル便の案内はゆるキャラが登場し、来場者を楽しませてくれました(写真右)。



[20180311](#)

会場オラッチェの外には梅の木が一本花を咲かせていました。また、来年もこの企画が継続してくれると思います。ボランティアの皆さんの頑張る姿を見て心が温まりました。

取材；東部・田方地区生きがい特派員 加藤 孝